

2020年度 電気関係学会東北支部連合大会

企画セッション ICTによる地域振興と産学官連携

第三部 「東北地方のICT連携を考える」

連携施策・制度紹介

令和2年8月27日

総務省 東北総合通信局 情報通信連携推進課

大沼英浩

戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）

◎事業の概要

- ・ 情報通信技術（ICT）分野の新規性に富む研究開発課題を大学・企業の研究機関等から広く公募し、外部有識者による選考評価の上、研究を委託する競争的資金
- ・ これにより、未来社会における新たな価値創造、若手ICT研究者の育成、ICTの利活用による地域の活性化等を推進
- ・ 6つのプログラム
- ・ 主なプログラム
 - （1）社会展開指向型研究開発
IoT/BD/AI時代に対応して、実用化・社会実装を意識した、新たな価値の創造、社会システムの変革並びに地域の活性化及び課題の解決に寄与する研究開発を委託
 - （2）ICT基礎・育成型研究開発
次世代を担う若手人材の育成・中小企業等の斬新な技術発掘のため、Feasibility Studyとして課題終了後の発展が見込める課題、情報通信分野の基礎的技術の発展に寄与する課題の研究開発を委託

戦略的情報通信研究開発推進事業 (SCOPE)

◎令和元年度 新規課題の採択件数及び研究代表機関 (東北管内)

【社会展開指向型2年枠】 1件 東北大学

超小型衛星のターゲットポインティング制御を活用したオンデマンド・リモートセンシングシステムの研究開発

【社会展開指向型3年枠】 1件 仙台高等専門学校

観光客の周遊性の向上と安全を提供するLPWAタグによるスマートツーリズム

【ICT基礎・育成型1年枠】 2件

スピンセンシングファクトリー株式会社

スピントロニクス素子による非破壊検査イメージングの研究開発

ヤグチ電子工業株式会社

LPWAを利用した低消費型IoT環境測定局の研究開発

【電波有効利用促進型】 1件 東北大学

電極の微細化によらない弾性波デバイスの超高周波化 ～5G以降の超高周波弾性波フィルタの実現に向けて

T-MJSNTの取組み

◎T-MJSNT（東北産学官ローカルネットワーク）とは

- ・「T-MJSNT（マジェスネット）」は、研究開発支援制度を所管する関係機関の連携活動
東北経済産業局、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）、科学技術振興機構（JST）、
中小企業基盤整備機構、情報通信研究機構（NICT）、東北総合通信局
- ・研究開発プロジェクト等で、支援制度活用を検討している地域の産学官の皆様を対象に
「国の研究開発予算に係る合同説明会」を開催
- ・併せて、関係機関による個別相談会も実施
- ・「どの制度に合うか相談したい」、「次年度の情報を得たい」等の要望にも、できる限り対応

◎令和2年度に向けた「国の研究開発予算に係る合同説明会」の開催状況

【概算要求時】 R1/11/14（仙台市）

【予算案時】 R2/1/16（秋田市）、1/23（盛岡市）、1/24（仙台市）

◎参加者の声

- ・「一堂に会した各機関の説明を聴けることから、どの制度がマッチするか適切な判断をするのに役立つ」

地域課題解決マッチング会の取組み

◎地域課題解決マッチング会とは

- ・本会は地方公共団体が抱える地域課題（防災、IoT基盤、観光などの11分野）を募集し、解決の糸口となる提案を大学・企業等から求めることにより、地域課題の解決を図ることを目的に実施

◎応募のあった地域課題及び解決提案件数

【防災分野】（宮城県川崎町）高齢者見守りシステム整備 ⇒4団体から提案

【IoT基盤分野】（山形県鶴岡市）ICTを活用した地域情報伝達システムの構築 ⇒6団体から提案

【観光分野】（岩手県八幡平市）観光客への災害情報提供及び二次交通の確保 ⇒1団体から提案

【観光分野】（岩手県一関市）

硫化水素濃度データ把握等による登山道の開放及び観光施設等の情報発信による集客増 ⇒3団体から提案

◎令和元年度「地域課題解決マッチング会」の開催状況

- ・R2/2/14 東北総合通信局にて開催

※新型コロナウイルスの影響により、令和2年度の取組みは例年と異なる時期・内容になる可能性あり。